

# ジョナサン・カツのライブで“音楽”しよう

# ART GRAPH

## ART EVENT NEWS

### 2001

# 4月・5月

### ジョナサン・カツ・トリオ/CANDELA ライブ・スケジュール

4月23日 19:15～ J(新宿 ☎03-3354-0335)/ 4月27日 19:30～ B FLAT (赤坂 ☎03-5563-2563)/ 4月28日 19:30～ さくらんぼ (調布 ☎0424-88-0626)/ 4月30日 20:00～ レストラン・サンタナ(平塚 ☎0463-21-6915)/ 5月7日 19:15～ J/ 5月19日 19:30～ B FLAT



ジョナサン・カツ  
Jonathan Katz  
Photo by Peter Wu

「僕の音楽のジャンル？ そういうカテゴリーを遥かに超えてるよ」

レイ・ブラウン、ケニー・バレル、ミックキー・ローカーといえは、ジャズファンなら知らない人はいないだろう。昨年有名ジャズクラブ、ブルーノート東京でこれら大物と共演したジョナサン・カツは、日本を舞台に活躍する新進気鋭のミュージシャンだ。

ニューヨークのロングアイランド出身。父親が音楽の教師、兄も音楽家という恵まれた環境に育った。1987年エール大学時代に音楽交流のために初来日し、日本各地で演奏した。それが機縁で、イーストマン音楽院卒業後すぐに東京での生活を始め、95年から本格的にライブなどの演奏活動を開始した。まず、ジョナサン・カツ・トリオ(スタンダードやジャズオリジナルを演奏するピアノ・ベース・ドラムスからなるユニット)を結成。ジョナサンはピアノとホルンの演奏と作曲・編曲をこなす。また、従来のジャズグループの楽器に尺八や津軽三味線など和楽器を加えたバンドCANDELAの一人として、日本の民謡「最上川舟歌」をラテン・ジャズ風に、「浜千鳥」「ふるさと」などをバラード調にアレンジしたりして演奏している。CANDELA全員の



左 レイ・ブラウン 中央 ジョナサン・カツ 右 ケニー・バレル

From left : Ray Brown, Jonathan Katz, Kenny Burrell / Blue Note Tokyo, March 8, 2000

Photo by Akira Midorikawa

音楽経歴として共通するのはジャズだが、だからといって彼らを「ジャズミュージシャン」として「くくりにはできない。「音楽のいろいろなカテゴリーを遥かに超えてる」とジョナサンは言う。

「西洋音楽が他の音楽を支配するのではなく、融合を」

「日本のメロディーは美しくシンプルで普遍的なもの。アレンジするとき、その音質や間の置き方を壊さないようにしている。東西の音楽を結合する場合、西洋音楽が他のそれを支配するのではなく、双方の特徴やよさを大事にし、融合させる編曲をしています」。これは、強国の文化を弱小国に押しつける「文化侵略」への警鐘とも取れる。

ジャズ通の話によれば、「ジョナサンのピアノは、ビル・エバンス風で、知的。テクニクは見事なもの」だそう。一方本人は、「誰もが聴いて感動する音楽を創りたいだけ。僕も楽しみたいし」と謙虚だ。音楽は音を楽しむものだから。



Jonathan Katz

4月27日発売のCD

Photo by Hirota Yonekura

Jonathan Katz's URL : <http://www.jkatz.net>